

## 案件（2）成年後見制度に関する情報共有

委員の皆様からお寄せいただいた、協議会で確認したいことや情報交換したいこと。

## 【ケアマネジャーとの関わりについて】

○後見人等の方がケアマネジャーと関わっていく上で、困っていることや、何か課題があれば共有していきたい。（厚木医療福祉連絡会 ケアマネジャー部会）

## 【周知の仕方について】

○今まで同じ内容の話をさせていただいていましたが、精神障がい者の方やそのご家族は「成年後見制度」に偏見をもっているのが日々の相談場面で感じます。それでも、高齢になったご家族から「親なき後」の不安があり同制度についてお話をさせていただき、「あゆさぼ」につながった方もいるので少しずつですが変化も見られるようです。

精神障がい者の方の意思決定や判断能力は、病状、経験などいろいろな要素で変わっていくことが特徴なので、それを踏まえた上で周知の仕方を考えていくことができれば良いなと思います。（厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会）

## 【市長申立てについて】

○横浜市や伊勢原市等、神奈川県内の市区町村で、行政書士会やコスモスへ親族調査のご依頼をいただいています。市長申立てを行う際、親族調査が業務上負担となっている場合、他士業様含め、協力できることがあるのではないかと考えています。この点、情報交換ができましたら幸いです。（公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部）

## 【認知症高齢者への対応について】

○権利擁護は成年後見制度だけではないといわれますが、具体的にはどのような支援があるのか、障がい、高齢分野幅広く知りたいです。私は成年後見の事しかあまりよくわかりません。私も在宅で認知症状のある独居高齢者の事案があり、本人が在宅希望でしたので、この2年間、本人の症状に合わせて、部屋の整備、ご近所さんへの協力願い、介護保険サービスの申請、サービス内容を変化させて、対応してまいりました。

しかし、初夏の頃から筋力低下による転倒、自宅アパートがわからなくなる、夜間の外出、警察や救急隊にお世話になることが発生。その度に駆け付け、対応してきました。本人も在宅生活に不安を感じ始めていたので、施設入居に向けての意向確認をしているところでした。また、金銭的な問題や集団生活に馴染むかの課題もありました。そんな中、警察か

ら電話があり、自宅が分からなくなり、近所の人からの通報で自宅まで送ってきたと連絡が入りました。引き渡したいから、本人自宅まで来てくれというのです。本人は自宅に居るのに引き渡す？直ぐに返事をしなかったら、私の家まで連れてきて引き渡すと言うのです。うちに連れて来られても、また送らなくてはならないので、そちらに行きますと直ぐに向かいました。免許証を提示するよう求められ、後見人について、根掘り葉掘り聞かれました。最後に、名前と住所がわかるうちに早く施設に入れて下さいと言われました。警察が言っていることも分かりますが、まるで悪人のような扱いでしたので、警察としては、認知症高齢者の対応をどのように考えているのでしょうか。立場が変われば色々なご意見、事情もあると思いますので、ざっくばらんにご意見を伺い、今後の後見活動に役立てたいと思います。

因みに現在は特養にショートで入所し、集団生活にもやっと馴染めるようになり、本人も施設での生活を希望されたので、金銭課題がクリアできれば、本入所を希望したいと思っております。振り返ると、警察の方の一言も大きな後押しになりました。

(公益社団法人神奈川県社会福祉士会ぱあとなあ神奈川)